



平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年11月6日

上場会社名 株式会社 アドバネクス
 コード番号 5998 URL <http://www.advanex.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 柴野 恒雄
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役最高財務責任者 (氏名) 大野 俊也
 四半期報告書提出予定日 平成27年11月11日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

上場取引所 東

TEL 03-3822-5865

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	9,924	△30.4	366	△27.0	353	△18.6	237	△25.5
27年3月期第2四半期	14,262	6.8	502	48.3	434	47.3	318	19.4

(注) 包括利益 28年3月期第2四半期 84百万円 (△92.2%) 27年3月期第2四半期 1,083百万円 (116.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	57.88	57.49
27年3月期第2四半期	76.92	76.51

(注) 当社は平成27年10月1日を効力発生日として普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施しました。当該株式併合を前連結会計年度の期首に実施したと仮定し、1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第2四半期	16,677	6,901	41.2	1,680.82
27年3月期	16,554	7,032	42.3	1,692.93

(参考) 自己資本 28年3月期第2四半期 6,869百万円 27年3月期 7,002百万円

(注) 当社は平成27年10月1日を効力発生日として普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施しました。当該株式併合を前連結会計年度の期首に実施したと仮定し、1株当たり純資産を算定しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	—	—	3.00	3.00
28年3月期	—	—	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	35.00	35.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は、平成27年10月1日を効力発生日として普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施しました。平成28年3月期(予想)の1株当たり期末配当金につきましては、当該株式併合の影響を考慮した金額を記載しております。

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	19,800	△32.9	880	△18.6	860	△13.4	550	2.8
								134.08

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

平成28年3月期通期の業績予想における1株当たり当期純利益につきましては、株式併合の影響を考慮しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

28年3月期2Q	4,153,370 株	27年3月期	4,153,370 株
28年3月期2Q	66,665 株	27年3月期	16,816 株
28年3月期2Q	4,102,164 株	27年3月期2Q	4,142,946 株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

(注)当社は平成27年10月1日を効力発生日として普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施しました。当該株式併合を前連結会計年度の期首に実施したと仮定し、期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における経済環境は、海外では、欧州で景気が緩やかに回復しており、また、米国では景気が緩やかに拡大しているなかで年内利上げ見送りの可能性も指摘されております。中国は景気減速が鮮明になっているなど、先行き不透明感が増しております。国内では、中国市場に対する警戒感が強まっており、回復基調であった先行きにも一部懸念が生じております。当社が関連する分野では、自動車市場は、北米と欧州では需要が堅調に推移しましたが、中国を含むアジアと国内では生産台数が前年同四半期を下回りました。

当第2四半期連結累計期間の売上高は、主に平成27年3月31日に第一化成ホールディングス株式会社の全株式を売却しプラスチック事業の大部分が連結対象から除外されたことにより、前年同四半期比30.4%減の99億24百万円となり、営業利益も同様の理由により、前年同四半期比27.0%減の3億66百万円となりました。経常利益は、前年同四半期比18.6%減の3億53百万円となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同四半期比25.5%減の2億37百万円となりました。

セグメントの業績は以下のとおりであります。なお、プラスチック事業は、平成27年3月31日の第一化成ホールディングス株式会社の全株式売却によって重要性が低下したため、第1四半期連結累計期間より精密ばね事業に統合いたしました。一方、重要性の高い海外事業を含めた地域別管理体制を強化したため、第1四半期連結累計期間より所在地別セグメントを報告セグメントとすることにいたしました。

なお、前年同四半期との比較は、当第2四半期連結累計期間において用いた報告セグメントのベースで行っております。

〔日本〕

プラスチック事業の大部分が連結対象外となったほか、プロダクトミックスの悪化ならびに固定費が増加したことなどにより、売上高は前年同四半期比40.0%減の39億36百万円、セグメント損失は1億45百万円となりました。

〔米州〕

自動車向けが好調に推移したほか、インフラ向けが増加しました。これらの結果、売上高は前年同四半期比29.4%増の10億97百万円、セグメント利益は同123.1%増の52百万円となりました。

〔欧州〕

医療向けが好調に推移したほか、航空機向けが増加しました。これらの結果、売上高は前年同四半期比34.0%増の12億49百万円、セグメント利益は同58.4%増の1億47百万円となりました。

〔アジア〕

プラスチック事業の大部分が連結対象外となったことにより、売上高は前年同四半期比38.5%減の36億41百万円、セグメント利益は同19.5%減の3億22百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ1億22百万円増加し、166億77百万円となりました。

資産の部においては、流動資産合計額が3億15百万円減少し、99億89百万円となりました。主な理由は、現金及び預金が2億5百万円、受取手形及び売掛金が95百万円及び棚卸資産が65百万円それぞれ減少したことにより。また、固定資産合計額は4億38百万円増加し66億88百万円となりました。設備投資の増加により有形固定資産が3億21百万円増加し、無形固定資産が52百万円増加しました。

負債の部においては、負債合計額は97億75百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億53百万円増加しました。主な理由は、支払手形及び買掛金が91百万円増加し、借入金が2億70百万円増加したことにより。また、

純資産の部においては、純資産合計額が69億1百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億30百万円減少しま

した。主な理由は、親会社株式に帰属する四半期純利益が2億37百万円発生しましたが、円高により為替換算調整勘定が1億49百万円減少したことによります。

②キャッシュ・フローの状況の分析

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ1億97百万円減少し、32億10百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により資金が7億61百万円増加(前年同四半期は7億51百万円の資金増加)しました。

主な収入要因は、税金等調整前四半期純利益3億45百万円、減価償却費による資金留保4億19百万円によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により資金が9億31百万円減少(前年同四半期は1億28百万円の資金増加)しました。

主な支出要因は、当社及びグループ会社における設備投資7億97百万円によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により資金が27百万円増加(前年同四半期は9億59百万円の資金減少)しました。

主な収入要因は、借入金による収支2億72百万円であり、支出要因は、自己株式の取得99百万円、配当金の支払額1億22百万円によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年3月期の通期連結業績予想につきましては、平成27年5月12日に公表しました予想数値に変更ありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日)等を、第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,485,433	3,279,493
受取手形及び売掛金	4,474,470	4,378,891
商品及び製品	1,062,636	1,022,597
仕掛品	429,068	448,309
原材料及び貯蔵品	667,793	623,220
繰延税金資産	3,618	1,462
その他	194,548	248,811
貸倒引当金	△12,751	△13,410
流動資産合計	10,304,818	9,989,375
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,105,555	1,043,640
機械装置及び運搬具(純額)	2,104,815	2,103,312
土地	1,015,779	1,031,509
その他(純額)	922,225	1,291,508
有形固定資産合計	5,148,376	5,469,971
無形固定資産	238,265	290,466
投資その他の資産	863,299	927,736
固定資産合計	6,249,941	6,688,174
資産合計	16,554,760	16,677,549
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,514,598	2,606,217
短期借入金	641,629	724,559
1年内返済予定の長期借入金	1,041,421	1,098,632
未払法人税等	135,626	170,540
賞与引当金	143,069	234,601
災害損失引当金	105,000	104,506
その他	1,038,467	905,735
流動負債合計	5,619,813	5,844,793
固定負債		
長期借入金	2,255,918	2,386,241
繰延税金負債	158,395	178,164
環境対策引当金	3,000	3,000
退職給付に係る負債	1,255,778	1,197,428
資産除去債務	39,145	39,192
その他	189,953	126,908
固定負債合計	3,902,191	3,930,935
負債合計	9,522,004	9,775,729

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,000,000	1,000,000
資本剰余金	256,811	256,717
利益剰余金	5,241,616	5,352,430
自己株式	△24,941	△116,818
株主資本合計	6,473,486	6,492,329
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	125,814	104,160
為替換算調整勘定	570,381	421,106
退職給付に係る調整累計額	△166,805	△148,575
その他の包括利益累計額合計	529,389	376,691
新株予約権	29,879	32,800
純資産合計	7,032,755	6,901,820
負債純資産合計	16,554,760	16,677,549

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	14,262,066	9,924,554
売上原価	11,039,221	7,269,986
売上総利益	3,222,844	2,654,568
販売費及び一般管理費	2,720,280	2,287,714
営業利益	502,564	366,854
営業外収益		
受取利息	8,680	8,053
受取配当金	2,051	2,859
受取賃貸料	62,392	42,639
為替差益	91,919	—
その他	39,350	13,170
営業外収益合計	204,394	66,722
営業外費用		
支払利息	81,589	27,274
持分法による投資損失	126,401	—
為替差損	—	31,779
その他	64,853	21,194
営業外費用合計	272,844	80,248
経常利益	434,114	353,327
特別利益		
固定資産売却益	619	216
関係会社株式売却益	154,623	—
特別利益合計	155,242	216
特別損失		
固定資産売却損	1,534	372
固定資産処分損	3,015	218
投資有価証券売却損	—	8
関係会社整理損失引当金繰入額	—	7,464
事業再編損	37,050	—
特別損失合計	41,600	8,063
税金等調整前四半期純利益	547,757	345,479
法人税、住民税及び事業税	164,120	100,611
法人税等調整額	△263	7,425
法人税等合計	163,857	108,036
四半期純利益	383,899	237,442
非支配株主に帰属する四半期純利益	65,239	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	318,660	237,442

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
四半期純利益	383,899	237,442
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	30,715	△21,653
為替換算調整勘定	458,662	△149,275
退職給付に係る調整額	204,267	18,230
持分法適用会社に対する持分相当額	6,382	—
その他の包括利益合計	700,027	△152,698
四半期包括利益	1,083,926	84,744
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	962,613	84,744
非支配株主に係る四半期包括利益	121,313	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	(単位：千円)	
	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	547,757	345,479
減価償却費	580,624	419,075
貸倒引当金の増減額(△は減少)	1,431	△968
賞与引当金の増減額(△は減少)	36,529	95,094
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	112,194	△36,652
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△2,304	—
受取利息及び受取配当金	△10,731	△10,912
支払利息	81,589	27,274
為替差損益(△は益)	△69,161	311
固定資産売却損益(△は益)	915	156
固定資産処分損益(△は益)	3,015	218
関係会社株式売却損益(△は益)	△154,623	—
投資有価証券売却損益(△は益)	—	8
売上債権の増減額(△は増加)	△302,575	18,536
たな卸資産の増減額(△は増加)	△320,188	43,704
仕入債務の増減額(△は減少)	129,662	123,595
その他	269,283	△211,652
小計	903,419	813,269
利息及び配当金の受取額	9,618	11,056
利息の支払額	△68,902	△28,195
法人税等の支払額	△151,819	△77,784
その他	58,780	43,581
営業活動によるキャッシュ・フロー	751,096	761,926
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△751,449	△797,724
有形固定資産の売却による収入	6,263	1,517
無形固定資産の取得による支出	△26,812	△74,288
無形固定資産の売却による収入	1,604	267
投資有価証券の取得による支出	△10,368	△48,207
関係会社株式の取得による支出	△11,520	—
関係会社株式の売却による収入	980,000	—
その他	△59,489	△13,082
投資活動によるキャッシュ・フロー	128,228	△931,518
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△1,037,808	△23,435
長期借入れによる収入	763,698	800,000
長期借入金の返済による支出	△583,869	△503,802
自己株式の増減額(△は増加)	△12,899	△99,955
配当金の支払額	—	△122,390
その他	△88,390	△22,463
財務活動によるキャッシュ・フロー	△959,269	27,952
現金及び現金同等物に係る換算差額	131,333	△55,481
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	51,388	△197,121
現金及び現金同等物の期首残高	2,745,610	3,407,654
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	101,459	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,898,458	3,210,533

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	日本	米州	欧州	アジア	合計
売上高					
外部顧客への売上高	6,561,833	848,040	932,493	5,919,698	14,262,066
セグメント間の内部売上高 又は振替高	462,008	—	20,112	404,980	887,102
計	7,023,842	848,040	952,606	6,324,679	15,149,169
セグメント利益又は セグメント損失(△)	△30,365	23,327	93,337	401,217	487,516

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	487,516
セグメント間取引消去	15,047
四半期連結損益計算書の営業利益	502,564

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	日本	米州	欧州	アジア	合計
売上高					
外部顧客への売上高	3,936,198	1,097,030	1,249,441	3,641,884	9,924,554
セグメント間の内部売上高 又は振替高	243,322	—	22,019	90,700	356,041
計	4,179,521	1,097,030	1,271,460	3,732,584	10,280,596
セグメント利益又は セグメント損失(△)	△145,545	52,048	147,852	322,785	377,141

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	377,141
セグメント間取引消去	△10,287
四半期連結損益計算書の営業利益	366,854

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

4. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間から、報告セグメントとして記載するセグメントを変更しております。前連結会計年度までは、精密ばね事業、プラスチック事業で記載していましたが、主として、プラスチック事業を行っていた当社の子会社第一化成ホールディングス株式会社の全株式を平成27年3月31日に売却したことにより、プラスチック事業としての重要性が低下しました。一方、重要性の高い海外事業を含めた地域別管理体制を強化したため、第1四半期連結会計期間より報告セグメントを「日本」、「米州」、「欧州」及び「アジア」に変更しております。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、当第2四半期連結累計期間において用いた報告セグメントに基づき作成しております。